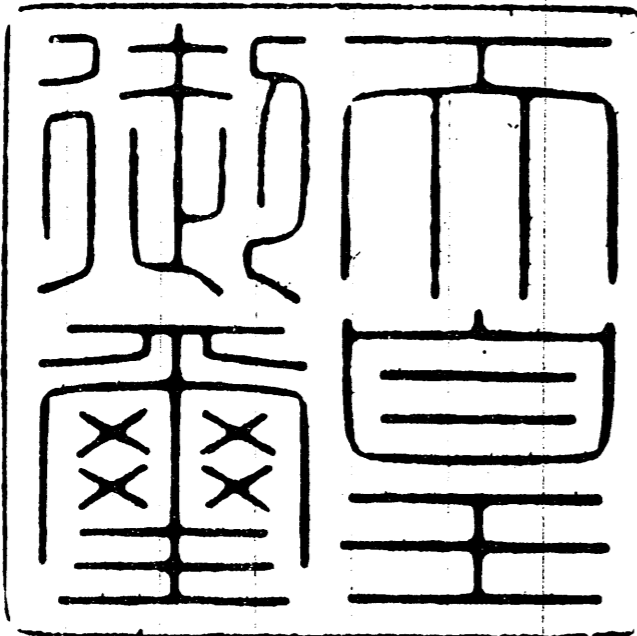


勅令第三百十號

朕關東州會社職員給與臨時措置
令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁

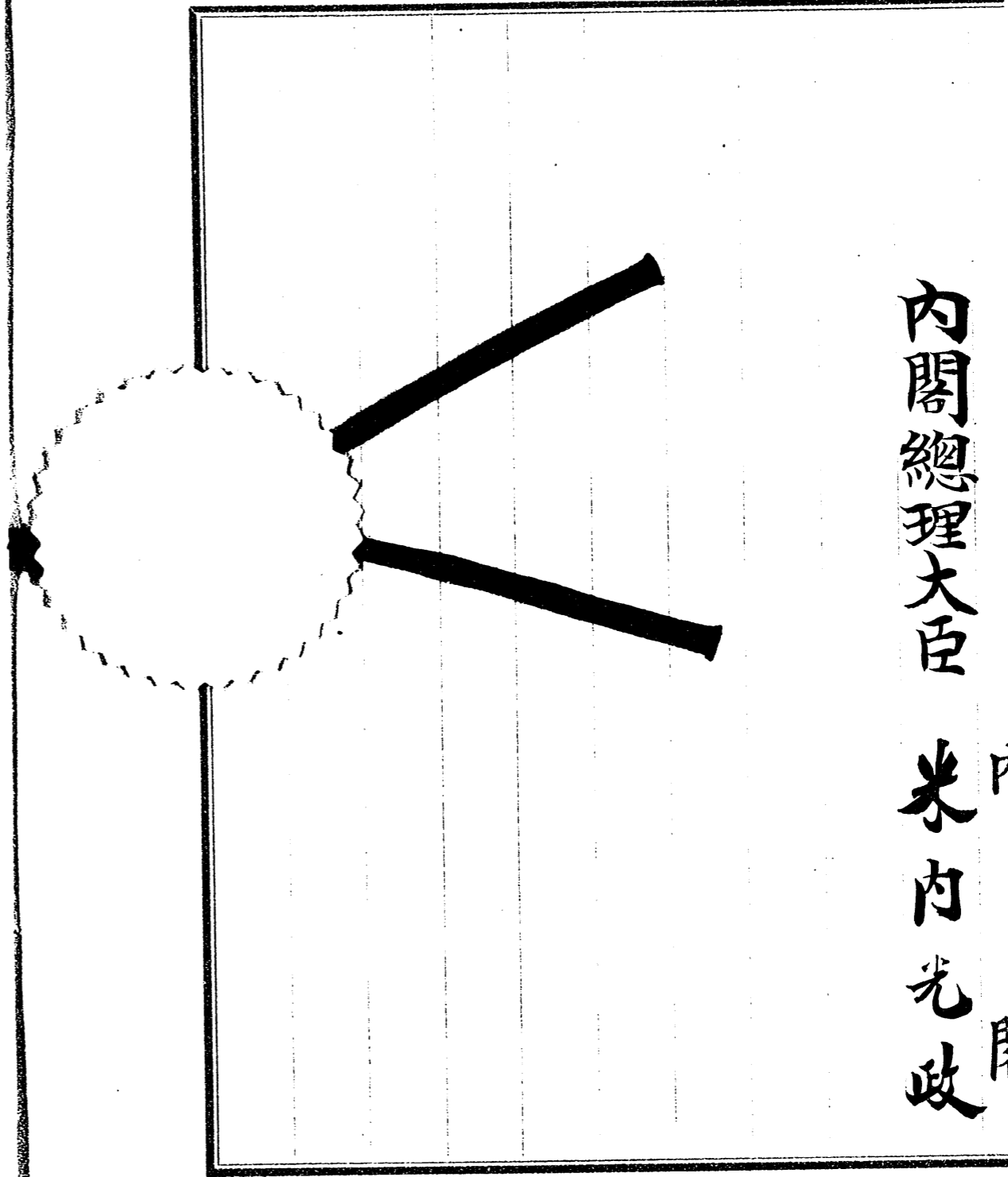


昭和十五年四月三十日

内閣總理大臣

米内光政

陸



勅令第三百十號

關東州會社職員給與臨時措置令

第一條 關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法第十一條ノ規定ニ基ク會社ノ經理ニ關スル命令ノ中船員以外ノ職員ニ對スル給與ノ支給ニ關スルモノニ付テハ本令ニ定ムルモノノ外會社職員給與臨時措置令ニ依ル但シ第十二條乃至第十四條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十三條乃至第二十五條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

會社職員給與臨時措置令中國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）又ハ國家總動員法トアルハ關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動

四

四

員法トシ閣令トアルハ關東局令トシ會社利益配當及資金融通令
第七條トアルハ關東州會社利益配當令第六條トシ主務大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權大使トシ昭和十四年九月十八日トアルハ昭和十五年一月一日トシ賃金臨時措置令第三條ノ賃金ヲ受クル勞務者トアルハ賃金（賃金、給料、手当、賞與其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ）僱傭者ガ勞働ノ對價トシテ支給スル金錢、物其ノ他ノ利益ヲ謂フヘク受クル勞務者トス

第二條 滿洲國駐劄特命全權大使ハ本令施行ニ關スル事務ノ一部ヲ稅務署長又ハ民政署長ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得
大使ハ稅務署長若ハ民政署長ヲシテ會社職員給與臨時措置令第十六條ノ規定ニ依ル報告ヲ徵セシメ又ハ稅務署長、民政署長若

ハ其ノ代理官ヲシテ同條ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ爲サシムルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十五年五月三日ヨリ之ヲ施行ス
本令ハ昭和十五年十二月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス但シ同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ同日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス
會社職員給與臨時措置令ハ本令ノ適用ニ付テハ昭和十五年十月十九日後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス